

財団法人 札幌国際プラザ
〒060-0001札幌市中央区北1条西3丁目札幌MNビル
Kita1 Nishi3, Chuo-ku, Sapporo 060-0001 JAPAN
TEL.011-211-3670 FAX.011-211-3673
ホームページ <http://www.plaza-sapporo.or.jp>
E-mail sicpf@poplar.ocn.ne.jp

Contents

ミュンヘン・クリスマス市 in Sapporo ほか.....	2
コンベンション関連産業札幌ネットワーク ほか	4
韓国を知るセミナー ほか.....	5
国際協力フェスタ2002 ほか.....	6
豊平川ウォーク『世界を歩こう!』 ほか.....	7
国際会議参加者対象アンケート調査結果報告 ほか...	8

第6回 DPI 世界会議札幌大会開催 ～ 外国語ボランティアが大会を支援～



平成14年10月15日(火)～18日(金)の4日間、道立総合体育センター「きたえる」にて、国内外109ヵ国から3000人を超える参加者が集まり、第6回DPI世界会議札幌大会が開催されました。「なくそうバリアふやそう心のバリアフリー」をテーマに、組織委員会と関係団体の長期にわたる大会開催への準備・運営、移動、介助、手話、語学や撮影等のボランティア団体、専門学校・大学の支援活動によって、大成功のうちに大会は終了しました。

札幌国際プラザでは、主に語学ボランティアの窓口として大会を支援。ボランティアの方々は、語学だけのサポートにとらわれること

なく、介護基礎講座受講や会場下見等の準備を入念に重ねて大会に臨みました。会場内誘導、インフォメーションデスクの活動を他ボランティアさんと連携しながら取り組み、終了時には「今回活動に参加できて本当に良かった」との声を多数聞くことが出来ました。また、参加者からも「札幌へ来て良かった」「札幌は親切な町」という声を頂きました。

今回の大会をきっかけに「心のバリアフリー」が今後一層広がる事が期待されます。



札幌の冬にドイツの薫りが漂う

ミュンヘン・クリスマス市 in Sapporo開催

11月23日(土)から12月15日(日)までの23日間、大通公園2丁目のホワイトイルミネーション会場において、「ミュンヘン・クリスマス市 in Sapporo」を開催しました。会場にはドイツの7企業から12店舗、札幌の9企業から10店舗が出店し、ドイツをはじめとするヨーロッパの伝統的な木製玩具・民芸品、刺繍、ガラス工芸品などが並びました。本場ドイツのクリスマス市を模し、松の葉で飾り付けられた木製の店舗に並ぶそれら数々のクリスマスオーナメント、またお店から漂うホットワインやソーセージの香りが会場を訪れる人々の足をとめ、魅了していました。ホワイトイルミネーションと調和した雰囲気は、本場ドイツのクリスマス市にも劣らない素晴らしい会場であると、ドイツから来られた出店者の皆さんも大変満足されていました。

会場には市民の方だけではなく道内外から多くの観光客も訪れ、期間中に延べ35万人を超える来場者が詰め掛け、札幌の冬の空の下に彩られた本場のクリスマス市の雰囲気に浸っていました。



ステージイベント

毎週末には、地元のコーラスグループや小学生などがゴスペルやライブ演奏などを披露。また、サンタクロース(聖ニコラウス)が大きな袋を抱えて会場に現れると、子供たちは満面の笑みを浮かべ、大喜びでプレゼントを受け取っていました。さらに、11月30日(土)には会場に面した札幌市役所の本庁舎がクリスマスツリーでライトアップされるなど、クリスマス市の雰囲気に彩りを添え、来場者及び出店者からも非常に好評を得ました。

外国語ボランティアのみなさんご協力ありがとうございました。

期間中はドイツ出店者の通訳として、延べ142人の外国語ボランティアの方々にご協力をいただきました。従事していただいたお店や時間帯によっては、落ち着く暇もないほど忙しかったにもかかわらず、ボランティアの方からは「普段経験できないことだったので、とても楽しかった」という感想を数多くいただきました。この場を借りて、厚く御礼を申し上げます。



オープニングセレモニー

オープニングの11月23日(土)には、桂信雄札幌市長をはじめミュンヘン市からの姉妹都市提携30周年記念訪問団の代表としてミュンヘン市市議会議員リンダー・シェードリヒ氏、ミュンヘン側の主催者であるIMAGのメリッ・アルコッシー氏らによるクリスマスツリーの点灯式が行われました。カウントダウンとともにクリスマスツリー及びブースにイルミネーションが灯ると、会場に詰め掛けた来場者の方々から大きな歓声が上がりました。続いて北星学園女子高等学校音楽科聖歌隊の皆さんによる美しい歌声が、イルミネーションの光をまとった会場を優しく包み込みました。



ズイモーネさんと作るドイツのクリスマス飾り

12月7日(土)ドイツのクリスマス飾りを作る講習会がコンベンションホールで行われました。国際交流員のズイモーネさん他3名のドイツの方が講師となり、ズイモーネさんが子供の頃作ったろうそく立てや星型の飾り作りに18組の親子が挑戦しました。参加者は思い思いに工夫を凝らし、オリジナリティー溢れる作品が見られました。講習会終了後、出来上がったクリスマス飾りは希望者により大通公園のクリスマス市会場に飾られました。



ミュンヘン訪問団と札幌市民の笑顔あふれる交流 札幌・ミュンヘン姉妹都市提携30周年記念祝賀会開催

11月25日(月)午後6時半から、札幌市とミュンヘン市の姉妹都市提携30周年を祝う記念祝賀会がホテルニューオータニ札幌にて盛大に開催されました。

祝賀会では、リンダー・シェードリヒ市議会議員を始めとするミュンヘン市からのお客様が、在札のドイツ人を含む約360名もの札幌市民の方々と、1972年に両市で開催されたオリンピックから続く友好親善を深めました。

今回ミュンヘンから来札された訪問団は、Kitaraで演奏会を開いた「民族音楽団 - バイエルン室内アンサンブル」、国際環境シンポジウムに参加した「環境シンポジウム団」、環境問題に強い関心を持つ中・高校生からなる「こども環境交流団」の方々で、それぞ

れの事業で実り多い交流を行う一方、この祝賀会においても市民の方々と大いに語り合っていました。

「サッポロ箏アンサンブル 群 & 琴友会」のオープニングで優雅に始まったこの盛況で、桂信雄札幌市長は、30年にわたって意義深い交流が続いている両市の関係を賞賛するとともに、この交流を支えている方々に深く感謝の意を表しました。

宴の途中では、バイエルン室内アンサンブルのミニコンサートや、札幌の学生40人によるYOSAKOIソーランも披露されて、両市民の喝采を浴びていました。

楽しい会話がいつまでも続き、今後ますます両市の交流発展が期待される祝宴となりました。



クロティルデ ラフォント - ケーニヒ テキスタイル芸術展開催

9月30日(月)から10月10日(木)に、芸術の森センター・ロビーおよび札幌市役所1階ロビーの2会場であわせて11日間に渡り、ミュンヘンの芸術家クロティルデ ラフォント - ケーニヒさんによるテキスタイル芸術展が開催されました。

キルティングやアップリケ、日本の刺子などを取り入れた独自のスタイルを持つ彼女の作品が25点ほど展示され、今回特に日本をイメージして作った作品が多かったこともあり、訪れた市民が作者に興味津々で話を聞く場面も見られました。



札幌天神山国際ハウス日本文化体験

平成14年11月28日(木)札幌天神山国際ハウスにて、ミュンヘンからの一行6名とドイツ人通訳者1名の計7名を対象に日本文化体験が開催されました。折り紙、茶道、着付けをそれぞれ体験していただきましたが、折り紙では季節に合わせてクリスマスツリーを緑色の紙で折り、出来上がる作品の繊細さに参加者は大変興味を示していました。また、茶道ではドイツ人男性が抹茶を3杯もお

代わりして、お茶の先生を驚かせ、紋付はかまに帯刀姿でエキサイティングしていた別のドイツ人男性は「自分の前世は侍だったに違いない」と刀を振り回しながら嬉しそうに話していました。参加したドイツ人一行は日本文化を堪能している様子で、参加したボランティアの方々も非常に楽しそうにプログラムは終始和やかな雰囲気の中で行われました。



日本語の教え方、教えます。

日本語教師養成講座 教育訓練給付制度適用

(コース修了後、授業料の80%、最大30万円が戻ります)
●本格的420時間実力養成集中講座
●本科昼間6カ月コース・本科夜間1年コース
●専修科単位取得コース1年コース

説明会随時実施中!
お問い合わせ、お申し込みは、通話料無料のフリーダイヤルで
0120-57-47-37

今年も100名のAET(英語指導助手)がIAYで日本語の研修を受けます。



財団法人 日本語教育振興協会 認定校

IAY日本語学校
札幌市中央区南1西4 日之出ビル5階 Tel.011-281-5188
URL: http://myaiy.com E-mail: info@myaiy.com

にほんご JAPANESE

外国人のための日本語コース

- 大学進学コース(就学ビザ取得可)
- 週1回2時間コース
- プライベートレッスン
- 企業委託





平成13年10月、コンベンション事業に進出の意欲を持つ企業が、情報交流や協力関係を通じてコンベンションの誘致・振興に結びつく活動を行う目的で発足した「コンベンション関連産業札幌ネットワーク」も、早一年が経過しました。

コンベンション関連産業札幌ネットワーク 魅力あふれるコンベンション都市札幌を広くアピール

9月6日(金)には、札幌メディアパーク・スピカを会場に開催された「さっぽろコンベンション市場(マーケット)」において、約800名の観客を集めた「世界のCMフェスティバル」を実施し、会場は大いに盛り上がり、大成功を収めました。また、同日に開催した「コンベンション企画コンペティション」では北海道アート社の「北海道フォトコンベンション2003」が最優秀賞を受賞しました。今年6月にオープンする札幌コンベンションセンターでの初のネットワーク事業として、11月下旬に実施する予定です。写真に関する「お祭り」として、現在準備を進めているところですので乞う御期待ください。

その他今年度のコンベンション札幌ネットワーク事業としては、札幌市内でコンベンション開催が可能な、意外で面白い場所、“空間”を再発見し、コンベンション主催のヒントにして頂けるようなリスト作りや、コンベンション時にホッと場を和ませ、コミュニケーションを促進する、札幌らしいアトラクションを取りまとめた「アトラクション札幌総図鑑」の作成に向けて、現在活動中です。

いずれも、コンベンションセンターのオープンに併せて、魅力あふれるコンベンション都市札幌を広くアピールできるよう、コンベンション札幌ネットワークのHP上で公開する予定です。(http://www.sapporo-convention.net)



ロシア・サハリン州の北東部大陸棚では、現在、大規模な石油・天然ガス開発「サハリン・プロジェクト」事業が進められています。このプロジェクトには、エクソン、ロイヤルダッチシェルなどの大手欧米石油資本の参加により、多くの欧米系スタッフが従事しています。そこで、北海道経済連合会では、この欧

サハリン・タイムス記者招へい サハリン・プロジェクト従事者のパカンスを北海道で

米系従事者を対象とした北海道への観光誘致を進めようと、道内観光関連企業・観光コンベンション推進団体等と呼びかけ、「サハリンプロジェクト観光インバウンド幹事会」を設置。去る11月には、この幹事会が主体となって、サハリン州で発行されている唯一の英字新聞「サハリンタイムス」の女性記者2名を招へいし、函館、大沼、留寿都、札幌と廻るコースで北海道を紹介しました。

現在約2,000名、最終的には数万人規模の欧米人が、サハリンで生活する見込みですが、この人達の長期休暇にあたってのリゾート・観光・買物の場として、北海道の可能性を大いにPRしていこうと、関係機関・企業がそれぞれの土地の特色・資源を紹介。札幌

については、札幌国際プラザ・コンベンションビューローがプレゼンテーションと市内案内を受け持ち、都市としての魅力をアピールしました。スポーツミュージアム、札幌コンサートホールkitaraなどの視察とともに、特に家族向けには、札幌芸術の森クラフト体験や市内の買い物スポット紹介も、「物価はやはり高いが、雪まつりなどにも是非来てみたい」とのコメントがありました。

帰国後、「サハリンタイムス」に2度にわたって北海道特集記事が掲載されました。プラザ・コンベンションビューローでは、今後も北海道経済連合会と連携を取りながら、この観光インバウンド事業の推進を図っていくこととしています。

通関・植物検疫・ 為替決済基礎講座開催



10月29日(火)から3日間、コンベンションホールにて「通関・植物検疫・為替決済基礎講座」を開催しました。この講座は、貿易・国際関係業務にこれから携わる予定の方、あるいは携わってまだ日の浅い方を対象に、「通関」では輸出入通関の流れと留意点、「植物検疫」では輸出入における植物検疫の流れと関係法令、「為替決済」では輸出入における為替決済の流れと留意点について、それぞれ実務に携わる専門家の方から説明をいただきました。

セミナーへは市内を中心に36の企業から3日間で延べ139名が出席し、貿易実務への関心の高さが感じられました。受講者は2時間にわたる講義に熱心に耳を傾け、講義後に活発な質問も交わされました。出席された方からは、「関税の計算演習がためになった」「内容は少し難しかったが勉強になった」という感想をいただきました。

初級英文ビジネスライティング 講座開催

翻訳家の
トーマス・アラン・
オーエンズ氏を
講師に招いて



11月7日(木) コンベンションホールにて「初級英文ビジネスライティング講座」を90分間の講義と個別相談という二部構成で開催しました。オーエンズ氏は、若い頃に上司にビジネスレターを添削してもらった際、削除に次ぐ削除でほとんど原文がなくなってしまったことなどの失敗談や、アメリカ人が嫌う書き方の例を交えながら、ビジネス場面におけるEmailのマナー、文章構成や表現のポイントなどについて、終始流暢な日本語で講義されていました。

アンケートでは、「してはいけないことが分かって良かった」「Email、手紙、FAXでそれぞれ形式に違いがあることが分かった」などの感想や「英語で講義してほしい」などの意欲的な要望が出されました。



「第20回韓国を知るセミナー」が10月29日(火)ほくでん料理情報館マドレにて開催されました。

第20回を迎えた今回は「盧家の食卓～手の味で伝える韓国」というテーマで、札幌市国際交流員の盧 稀珍 ノ・ヒジン さんを講師に、前半は韓国の食文化に関する講演を、後半は参加された市民の皆さんと一緒に、韓国の家庭料理を実際に作っていただきました。

第20回韓国を知るセミナー 「盧家の食卓」～手の味で伝える韓国～

今回のメニューは、ワカメスープ、タッカルビー、韓国太巻き(3品)で、いずれも韓国では大変人気のある料理です。盧さんによると、韓国では、ワカメスープは特に産婦に良いとされている料理で、母への感謝を含めて誕生日には必ず飲む習慣があるそうです。

会食時には、盧さんお手製のキムチとゆず茶もふるまわれ、参加された市民の皆さんは、本場の韓国の味を堪能しながら、交流の輪を深めていました。

タッカルビーのレシピ

材料(7人前)
鶏肉……………800g
さつまいも……………1個
キャベツ……………1/2
玉ねぎ……………1個
にんじん……………1/2個
ピーマン……………3個
エゴマの葉っぱ……………10枚
お餅……………14個

作り方

- 1 鶏肉は食べやすい大きさに切り、さつまいも、にんじん、ピーマンはたんざく切りにする
- 2 玉ねぎは5mmぐらいの薄切りにし、キャベツは適当な大きさに切る
- 3 お餅は水に浸しておく
- 4 たれを作った後、そのたれに鶏肉を漬けておく
- 5 大きめのフライパンに油をひき、野菜と餅を炒める

たれ(ヤンニョム)の材料

コチュジャン……………大4
しょうゆ……………大3
一味唐辛子……………大2
ごま油、生姜、にんにく……………少々
砂糖……………大4



11月5日(火)ほくでん料理情報館マドレにて「第16回中国を知るセミナー」が開催されました。

第16回を迎えた今回は、「中国、ふるさとの味～味の旅に出かけてみませんか」をテーマに、札幌市国際交流員の米克拉依・魏力(ミヒライ・ウィーリ)さんを講師に、セミナーを

第16回中国を知るセミナー 「中国、ふるさとの味」～味の旅に出かけてみませんか～

行いました。

初めに、米克拉依さんの故郷である、中国新疆ウイグル自治区の食文化に関する講演を行い、お客様をもてなすことの好きなウイグル族の料理、食習慣等について説明しました。

その後、参加された市民の皆さんと共に、新疆の家庭料理を実際に作りました。米、肉、ニンジン等を使って作る“つかみ飯”

「ポロー」、小麦粉、肉、玉ねぎ等を主にした“粉食”「ゴエシナン」、そして油を多く使ったこれらの料理を緩和してくれる「はるさめサラダ」の3品です。

参加された皆さんは、北京、四川等の一般に良く知られている中華料理とは違って、日本ではなかなか味わうことのできない新疆の料理に舌鼓を打ちながら、楽しい交流のひと時を過ごされました。

第16回ロシアを知るセミナー ロシアの交通事情と車社会について

「第16回ロシアを知るセミナー」が11月29日(金)当プラザコンベンションホールにて開催されました。

今回講師となったのは、8月に着任したばかりの新しい国際交流員マリーナ・ビリペンコさんで、本セミナーが初めての講演です。

テーマは「ロシアの交通事情と車社会について」で、まず、ロシアの代表的な交通機関について、市内交通機関(路面電車、バス、トロリーバス、地下鉄)と長距離交通機関(船、汽車、飛行機)の二つに大別し、それぞれの特徴について映像を交えながら、分かりやすく紹介しました。

次に、ロシアの車社会および交通事情について、日本と比較しながら説明しました。

マリーナさんによると、ロシアは1990年代から市場経済に入り、モータリゼーションの急速な発展により自動車交通を中心とした時代となった結果、乗客の46.2%(日本は70%)を自動車による輸送が占めるまでになっており、自動車交通は国民の生活になくてはならないものとなっている一方、モスクワ等の大都会では、駐車場不足、交通渋滞、交通事故、中心市街地の活力低下、環境悪化等を引き起こす原因となっているそうです。

たくさんの映像を交えながら、また、時には参加された皆さんに質問を投げかけたりと、和気あいあいとした雰囲気の中セミナーは進められ、着任したばかりとは思えないマリーナさんの講演に参加者は熱心に聞き入っていました。



第10回中東を知るセミナー 「国際テロと中東イスラム」 を共通テーマに講演



11月29日(金)財団法人中東調査会との共催で、外務省中東アフリカ局中東第二課地域調整官の林克好氏と財団法人中東調査会中東情報センター長の中島勇氏を講師にお迎えして「第10回中東を知るセミナー」を開催しました。

「国際テロと中東イスラム」という共通テーマのもと、最初に中島氏が「変化するパレスチナ問題を巡る政治状況—イラク問題と同時テロの波紋—」について、次に林氏が「湾岸産油国(イラク・サウジアラビアを中心に)の現状と日本の中東政策」について講演しました。昨年のテロ事件以来、中東地域への関心がいっそう高まっているなか、多くの市民が参加し、質疑応答でも熱心に質問する姿がみられ、セミナーは盛況のうちに終了しました。



5回目を迎えた国際協力フェスタ。今回は『みんなちがって、みんないい』金子みすず「わたしと小鳥とすずと」よりをテーマに10月19日(土)～10月20日(日)の二日間サッポロファクトリーで開催されました。

道内で活動している国際協力団体・NGOが協働し、国際協力の必要性和北海道で行われている活動の現状を広く市民に理解してもらうこと、国際協力に興味のある市民に対する情報提供と市民がフェスタを通じて直接活動に参加していける機会を設けること、

国際協力フェスタ2002開催

『みんなちがって、みんないい』

世界にある文化の多様性を受け入れ世界の人々とともに生きていくことを考え実践する機会を設けることを目的に、参加NGO43団体、国際協力事業団北海道国際センター(札幌)・(社)北方圏センター・(財)札幌国際プラザが実行委員会を組織して実施されたものです。

今年度はDPI世界会議札幌大会が行われたことも受け、DPIに参加された方をお招きした講演会や、障害者グループによる演奏会を始め、アフリカドラムライブや各NGO団体の活動報告会、写真展、エスニックカフェ、セミナー等内容盛りだくさんのフェスティバルとなりました。

札幌国際プラザは2日目に国際協力セミナー「世界のために働きたい!」と題した講演会を(社)北方圏センターとの共催により実施しました。第1部では外務省国連行政課の小山茂樹氏をお迎えし、「国際機関への就職の道」と題して国際機関に就職するための条件、職種、採用試験の情報についてお話し頂きました。第2部は「世界のために働くとい

うこと～国際機関・NGOで働いた経験から」をテーマに、国連開発計画(UNDP)のバンゲラデシュ事務所に勤務されていた、現北星学園大学経済学部助教授の萱野智篤氏、「難民を助ける会」ミャンマー事務所駐在員代表として勤務されている山口りか氏をお迎えして、ご自身の経験談のほか、これから国際協力の分野で働くことを希望している方々に、貴重な助言を頂きました。講演終了後は各講師の方々と個人的な質疑応答の時間が設けられ、250名を超えた来場者の列は途絶えることが無く、国際協力に対する関心の高さが伺えたセミナーとなりました。



短い滞在期間ながらも、札幌でのたくさんの思い出を胸に、一行は次の訪問先である関西へと出発しました。



「韓国大学生訪日研修団」来札

「韓国大学生訪日研修団」一行19名が、10月19日(土)～21日(月)の三日間、札幌を訪問されました。

この研修団は、「日韓学術文化青少年交流事業」の一環として、世界的な視野に立った新しい日韓の友好親善協力関係の構築を目的に、財団法人日韓文化交流基金が実施しているものです。

初日は、北海道開拓記念館および北海道開拓の村を視察した後、ホームステイ受入家庭との対面式、歓迎レセプションを行い、2日目はそれぞれ、ホストファミリーと共に観光、買い物など、終日楽しい時を過ごしました。最終日、一行は北海道大学を訪問し、施設見学、学生との懇談会、昼食会で地元学生との交流を深めました。

各国留学セミナー開催

プラザでは11月10日(金)のアメリカ留学相談会を始め、10月25日(金)・26日(土)の英国留学説明会、個人相談会、11月2日(土)のカナダ留学セミナー、11月16日(土)のオーストラリア留学セミナーがそれぞれ開催されました。

TOEFL説明会や現地担当者の方々による詳細な情報提供などが行われ、将来にわたり留学を考えている方々が多数参加されました。



企画立案から準備、実施運営、事後処理まで一貫したサービスをご提供しております。



International Communicators

日本コンベンションサービス株式会社

北海道支店

〒060-0807 札幌市北区北7条西4丁目1-1 トーカン札幌駅前ビル

TEL.011-738-3503(代) FAX.011-738-3504

URL: http://www.convention.co.jp

本社(東京) 関西支社 名古屋支店 神戸支店 九州支店

豊平川ウォーク『世界を歩こう!』

豊平川にかかる姉妹都市にちなんだ名称の橋を市民の方々に知って頂くことを目的に実施している豊平川ウォーク『世界を歩こう!』が今年も10月5日(土)山と森の散歩道との共催により行われました。幌平橋ポートランド広場からミュンヘン大橋までの約2Kmを韓国、中国、ロシア、ドイツ、アメリカからの国際交流員の案内により歩きながら、各国にちなんだゲーム、クイズ等を行うもので、今年で7回目の開催となります。幸い天候にも恵まれ、約80名

を数えた参加者の中には小学生や親子連れの姿も多く見られ、参加者はゲームやクイズ、ダンスを通して、姉妹都市のある国々や韓国への理解を深めるとともに、さわやかな秋の1日を堪能していました。



ヨーロッパを知るセミナー

『ミツコと七人の子供たち～クーデンホーフ光子の真実～』

11月26日(土)コンベンションホールにおいて「ヨーロッパを知るセミナー『ミツコと七人の子供たち～クーデンホーフ光子の真実～』」と題し、講演会を開催しました。

講師に1968年よりミュンヘンに在住されている作家、シュミット村木真寿美さんをお迎えし、日本人初の伯爵夫人であり、ヨーロッパ統一運動の生みの親であるリヒャルトの母であるクーデンホーフ光子と、その子供達の素顔と生涯についてお話

して頂きました。ご自身の歴史探訪にまつわる大変貴重な経験談や歴史継承の為に開催されている活動紹介を含めた講演は大変興味深いものがあり、スライドも大変貴重な映像が多く、参加者は19世紀のヨーロッパの世界にすっかり引き込まれていました。



第2回

ハイメス・プラザ時計台の鐘コンサート開催

11月1日(金)に北海道国際音楽交流協会(ハイメス)との共催により時計台の鐘コンサートが行われました。定員100名のところ645名もの応募があり、北海道出身の出演者によるソプラノ、テノールの独唱、二重唱とピアノ独奏によるコンサートでは、聞き覚えのある有名なセレナーデが時計台ホールいっぱいに響きわたり、参加された市民の方々は満足といった様子で音楽を楽しんでいました。

タイ料理講習会開催

タイ料理講習会は北海道タイランドクラブとの共催により、講師にワニダ・タッカー氏を迎えて10月4日(金)札幌市女性センターにて開催され、60通以上の応募の中から抽選により定員36名が参加しました。参加者は6グループに分かれ、和気藹々とした雰囲気の中、ソム・タム(グリーンパパイヤの和え物)、カオソーイ(麺にタイ風カレーをかけたもの)、プア・ブローイ(もち米だんごのデザート)を作りました。ワニダ・タッカー氏の親しみやすくユニークな話術で盛り上

がり、料理だけではなく、タイの文化、地理、歴史にも興味を抱いていたようで、お腹も心もいっぱいになり、満足げな顔で「楽しかったです」、「勉強になりました」、「料理講習会を増やして欲しい」といった感想が聞かれました。



第6回おとなりさんは外国人

この指とまれ、世界の子どもたち開催

11月16日(土)日本語教育ネットワークとの共催で「第6回おとなりさんは外国人」を開催しました。この事業は、電話受付の予約開始から15分程で日本人児童の申込定員に達するほどの人気イベントで、キャンセル待ちでも予約したいという声ができるほどでした。今回は北区、東区の方々を対象に実施し、参加者総勢122名が、ゲーム、手品、昔遊び、ジャグリング、アフリカダンスなどを行いました。3時間という短い時間でし

たが、参加した子どもたちは、時間が経つのを忘れるほど昔ながらの「素朴な遊び」に熱中し、楽しんでいました。



世界を舞台に活躍する、日本語教師



1987年の開校以来、数多くの優秀な日本語教師を育成、すでに多くの修了生が海外39カ国で活躍しています。

あなたのご都合に合わせた3コース
日本語教師養成講座

- 専科(6ヵ月間集中)
- 本科(夜間一年)
- 本科(全日制・夜間)

教育訓練
給付金
適用講座

確実な指導で抜群の合格率!

入学時期は4月、9月の年2回となっています。

●本校の詳細については、下記の住所まで500円切手を同封の上、入学案内をご請求下さい。

外国人のための日本語
JAPANESE FOR FOREIGNERS
■大学進学コース ■一般日本語コース



(財)日本語教育振興協会 認定校

札幌国際日本語学院

Japanese Language Institute of Sapporo

〒064-0806札幌市中央区南6条西26丁目2番7号

地下鉄円山公園駅徒歩7分

TEL.011-562-7001 FAX.011-562-7002

http://www.jli.co.jp E-mail:jli@cocoa.ocn.ne.jp



コンベンション参加者の視点から「さっぽろホスピタリティ」を検証するため、昨年7～8月に開催された二件の国際会議（第29回国際燃焼シンポジウム、第14回国際社会性昆虫

国際会議参加者が書きとめた「さっぽろホスピタリティ」 国際会議参加者対象アンケート調査結果報告

学会議）において、札幌の印象などを尋ねるアンケート調査を実施し、このほど調査結果をまとめました。その結果、ほぼすべての回答者が街並みの美しさ、また会期中に出会った市民や会議支援に携わったボランティアのホスピタリティに対して高い評価を与えていることがわかりました。しかし、一方で交通機

関や宿泊・飲食施設の案内表示などについて不満が漏らされています。コンベンションビューローは、今後もさまざまな機会を通じて行政機関や宿泊・飲食施設等への働きかけを行い、「さっぽろホスピタリティ」が存分に発揮されるコンベンション開催環境づくりに努めてまいります。

■会議データ

両会議とも公式言語は英語
第29回国際燃焼シンポジウム：30カ国1,099名
第14回国際社会性昆虫学会議：35カ国496名
両会議参加者合計：約1,600名
アンケート回収数456件（回収率28.6％）
＝初めて札幌を訪れた：83％
2回目以降：13％

■参加者コメント和訳

駅やホテルのような場所では、英語を話すスタッフがいるとよい（米国）
犯罪の匂いがまったく感じられない雰囲気が非常によかった（南ア）
快適で清潔、市民はあたたかく歓迎してくれる、夜間に独り歩きをしても安全（イスラエル）
清潔でよく整備されているが、公共の場所での喫煙は不快だった（ニュージーランド）
ヨーロッパ直行便がないことを除けば、札幌はまさに会議開催地として最適（フランス）
宿泊施設に国際チャンネルとインターネット接続環境がなかったため、多少退屈した（スウェーデン）
完璧といっているほど整った街並み、しかし英語によるアナウンスがなく地下鉄を乗りこなすのはたいへんだった、バスも同様（スイス）
コンベンションビューロー（インフォメーション・デスク）は期間中たいへん役立った（米国、イスラエル）

Information インフォメーション

2003年度前期分

プラザ助成金交付申請受付

2月3日から

札幌国際プラザ助成金は、札幌市で開催されるコンベンション（全国規模以上の大会・会議など）事業や、市民と在住外国人との交流事業などの国際化関連事業に対して交付いたします。

- 申請受付期間 2003年2月3日（月）～2003年2月28日（金）
- 交付決定時期 2003年3月下旬
- 対象事業期間 2003年4月1日（火）～2004年3月31日（水）
- 主な対象外事業
 - ・札幌市または同市の外郭団体から補助・助成等を受けるもの
 - ・芸術文化やスポーツに係るもの
 - ・宗教活動、政治活動またはこれらのいずれかに類するもの

- 申請方法
募集案内に添付している申請書に必要事項を記入のうえ、申請受付期間内にプラザ総務課に提出してください。募集案内はプラザで配布しています。
- お問い合わせ
札幌国際プラザ総務課 電話 011-211-3670

寄付のご紹介

10月23日（水）南美容室桜井の三澤龍子さんから、プラザの留学生事業のため、40,271円の寄付をいただきました。

同美容室は、平成元年から継続してチャリティバザーの収益金をプラザへ寄付いただいており、今回で総額2,750,270円となりました。長年にわたってのご協力に厚く感謝申し上げます。



新規賛助会員報告

2002年12月31日現在（敬称略）

個人会員 今野 一彦 碓屋 厚子
磯貝 敬子 笠松由起子

個人会員1,080人 団体会員369団体 ありがとうございます。

賛助会員募集中

個人会員 一口3千円 団体会員 一口2万円
ご加入は、お電話でお気軽にお申し込みください。
電話（011）211-3670（札幌国際プラザ総務課）

コンベンションセンター 開設準備室が移転しました

札幌コンベンションセンターのオープンを今年6月に控え、昨年12月25日にセンター施設がしゅん功しました。

それに伴い、コンベンションセンター開設準備室も施設内へ移転し、開業に向けて準備を進めているところです。

移転後の連絡先は次のようになっておりますので、利用申込、お問い合わせ等についてはこちらまでお願いいたします。

住所 〒003-0006 札幌市白石区東札幌6条1丁目
電話番号 011 - 817 - 1010 F A X 011 - 820 - 4300
E-mail scc@plaza-sapporo.or.jp
ホームページアドレス <http://www.plaza-sapporo.or.jp/scc/>

困ったときはおたずねください。
秘密を厳守します。

- ・外国人との結婚や子供の国籍問題
- ・日本国籍の取得や永住許可手続き
- ・外国人社員の雇用や日本への招聘
- ・在留資格の変更や期間更新の申請

法務大臣承認入国在留申請取次者

行政書士 滝沢 俊行

札幌市中央区南3条西10丁目杉山ビル1F

TEL.011-261-2465

E-mail: takizawa-t@gyosei.or.jp

<http://www2s.biglobe.ne.jp/~takitomo/>

国際結婚・国籍・
永住の相談と手続